

■令和3年12月27日号(第1768号)

- ・港湾局 令和3年度国交省補正＝港湾関連に約1077億円
- ・与党 令和4年度予算編成大綱＝経済政策筆頭に強靱化等
- ・国土審議会 第3回計画部会を開催＝新国土計画の考え方整理
- ・中部国際空港 B滑走路整備計画案＝着工までに数年は必要
- ・港湾局 LNGバンカリング拠点＝補助事業の公募を開始
- ・港湾局 第6回日露港湾当局会合＝コンテナ物流情報交換等
- ・中部国際空港 第6回将来構想検討部会＝来月から意見募集
- ・関東地整 アマモメッセンジャー＝子供達がアマモの種届ける
- ・横浜市港湾局 新本牧ふ頭第1期地区＝市事業で外周護岸B2整備
- ・鹿島港 中央防波堤と南防波堤＝ケーソン据付と基礎・上部工
- ・川崎市 第3期川崎市総合計画＝東扇島堀込部土地造成等
- ・八戸港 消波ブロック撤去工事＝土砂処分場から工業用地へ
- ・七尾港 大田地区国際物流T整備＝泊地水深13m磁気探査
- ・霧多布港海岸防潮堤が完成＝安心して暮らせるまちづくり
- ・室蘭市 洋上風力フォーラム開催＝1月関係者ら講演と討論
- ・東京港 春海運河の深浅測量委託＝測量面積は約12万㎡
- ・東京港 ふ頭小型船発着所浮栈橋＝四か所補修実施設計委託
- ・東京港 お台場海浜公園浮栈橋他＝海図補正測量を委託
- ・福岡空港 滑走路増設部地盤改良工＝来年度に残部の対策実施
- ・那覇港 臨港道路若狭港町線＝海上橋梁工事が始動
- ・北九州市 物流拠点構想の素案策定＝太刀浦TCクレーン更新等
- ・堺泉北港 汐見沖水深12m岸壁整備＝初弾工事手続きを開始
- ・水島港 国際バルク岸壁機能取組＝大型船受入へ航路浚渫
- ・荻田港 DX併用の現場見学会＝工業系大学生らが参加
- ・浜田港 福井地区新北防波堤延伸＝ケーソン1函を据付け
- ・近畿地整 阪神港利用促進セミナー＝コンテナ戦略とCNP等
- ・埋浚協会 安全パトロール実施＝横浜港新本牧護岸工現場
- ・阪神港 海上混載輸送試験実施＝小ロット農産物輸出拡大へ
- ・経済産業省 クリーンエネルギー戦略＝合同会合が投資誘導等検討
- ・海上GPS機構 GNSS測位技術講習会＝Web方式で約100名聴講
- ・港コン協 関東地整に3年度要望＝担い手の確保・育成など
- ・港コン協 中国、九州地整に要望＝働き方改革や担い手確保
- ・JOIN インドのエネ事業参画＝LNG調達・貯蔵・輸送
- ・自然電力 九州の洋上風力開発事業＝台湾企業と共同開発合意

■令和3年12月20日号(第1767号)

- ・洋上風力基地港湾 新たに15港の整備が必要=40年目標時の規模等試算
- ・港湾局 港湾工事のCO₂削減=第1回検討WGを開催
- ・中部国際空港 現空港内にB滑走路整備=工期5年、事業費140億円
- ・与党 令和4年度税制改正大綱=陸電供給設備の特例創設
- ・国土交通省 第3回災害対策推進費=港湾耐震化2件に8億円
- ・港湾局 軽石回収アイデア集公表=民間からの技術を集積
- ・パスコ 3次元海底地形計測導入=港湾DXと洋上風力支援
- ・羽田空港 旧整備地区の再構築計画=用地造成工等の手続き開始
- ・東京港 新海面処分場Dブロック=護岸遮水・裏埋や送泥深掘
- ・横浜港 新本牧ふ頭A護岸築造=ケーソン4函の製作・据付
- ・横浜港 本牧地区HD5岸壁改良=耐震強化で設計、施工計画
- ・東京都ら 沖ノ島島で現地調査実施=調査内容順次発信予定
- ・北陸地整 「若手技術者発表会」開催=埋立浚渫協会と合同発表
- ・北海道港湾建設業団体 第1回北海道研究会開催=4週8休確保等で意見交換
- ・港湾局・エネ庁 秋田県八峰町・能代市沖=洋上発電事業者公募開始
- ・神戸港 附帯施設2次捨石手続き=航路浚渫は再入札の検討
- ・舞鶴港 和田ふ頭第2バース整備=SCP促進へ磁気探査等
- ・清水港 新興津地区国際物流ターミナル=ケーソン構造検討業務
- ・名古屋港管組 金城ふ頭の護岸築造工事=最終締切り段階へ
- ・名古屋港 金城ふ頭の再編整備事業=航行安全対策検討業務
- ・御前崎港 西ふ頭1、2号岸壁改良=老朽化対策で細部設計
- ・柴山港 外防波堤西二重円筒堤=10号函PC本体内へ
- ・松山空港 RESA 護岸・用地造成実施設計へ=スリットケーソン計28函
- ・高知港 三重防護事業海上見学会=女性経営団体が主催
- ・高知県 12月補正予算案追加分=港湾・漁港に40.1億円
- ・九州地整 ITCアドバイザー決定=白海など27社運用開始
- ・運天港 国が港湾施設を一部管理=軽石除去支援を本格化
- ・港湾局 第3回基地港湾検討会概要=地域振興や適正規模など
- ・港湾局 第4回CNP検討会=金融面の整備対応を議論
- ・港コン協 近畿地整と意見交換=3年度要望書提出
- ・港コン協 四国地整に3年度要望=働き方改革、担い手確保
- ・海・港構造物維持管理士会=第21回セミナー開催
- ・港湾局 遠隔操作RTG継続事業=今年度補助金の交付決定
- ・海技協 3年度資格取得者発表=海上起重基幹技能者84名
- ・環境省 佐賀県洋上風力事業2件=環境配慮書大臣意見提出

- ・農水省 R3 補正予算＝漁港整備等に 230 億円
- ・東電 R P テトラ・スパー型浮体式＝北欧で実証発電を開始
- ・商船三井 英浮体式事業者と協業＝S P チェーン構築を検討
- ・J F E エンジ 愛知県田原市バイオマス＝最大級発電所の建設受注
- ・三井不動産 脱炭素グループ行動計画＝洋上風力など創エネ推進

■令和 3 年 12 月 13 日号 (第 1766 号)

- ・国土交通省 年内に環境行動計画改定＝C N P 形成など取り込み
- ・国土交通省 大臣主導の D X 推進本部＝デジタルビジョン策定へ
- ・港湾談話室 叙勲・褒章受章者を祝福＝2 年ぶりに「お祝いの会」
- ・政府 4 年度予算基本方針閣議決定＝コロナ回復後の経済成長
- ・政府 令和 3 年度補正予算案＝年内成立へ臨時国会提出
- ・港湾局 第 3 回 C N P 検討会概要＝認証制度や陸電供給体制
- ・川崎市 川崎 C N コンビナート構想＝策定に向け進捗を公表
- ・鹿島港 外港地区南防波堤＝上部工と基礎工、被覆工
- ・横浜港 過去最大の超大型船入港＝全長約 370m 汎コンテナ船
- ・関東地整 館山港沖で軽石を回収＝計 5 隻で東京湾漂着警戒
- ・八代港 原木輸出バースの整備＝来年度に施工法や細部設計
- ・清水港 新興津地区岸壁着工式＝200m 延伸、大型船 3 隻同時着岸へ
- ・神戸港 第 5 回 C N P 検討会＝近畿地整がロードマップ案
- ・広島空港 RESA 造成工事その 2 手続きへ＝C ロード移設、工事用道路
- ・神戸港 六甲南国際海上 C T＝R C 6 の岸壁側舗装工
- ・名古屋港 庄内川泊地浚渫工事＝その 2 工事手続き開始
- ・沿岸センター 港湾関連民間技術確認審査＝令和 3 年度上期評価、新規、更新など 5 件に交付
- ・港空研 高野誠紀所長に聴く＝カーボンニュートラルへの対応等
- ・八峰町・能代市沖 洋上風力の実務者会議＝漁業影響調査手法を確定
- ・室津港 1 日限定で港を開放＝地域振興で釣り大会開催
- ・御前崎港 海岸でアマモ場保全活動＝トラック 45 台分のごみ撤去
- ・大阪港湾局 大阪みなとセミナー開催＝府下 9 港の現状など報告
- ・コースタルテクノ＝沿岸センター、動画配信
- ・I N P E X 洋上風力蘭法人株取得＝欧州での事業推進へ始動
- ・日本埋立浚渫協会創立 60 周年

■令和 3 年 12 月 6 日号 (第 1765 号)

- ・港湾局 第 4 回 C N P 検討会開催＝年内マニュアル等取りまとめ

- ・政府 令和3年度補正予算決定＝洋上風力基地港に61億等
- ・濱口梧陵国際賞 授賞式と記念講演会開催＝津波防災の顕著な功績顕彰
- ・港湾局 軽石回収技術取りまとめ＝オイルフェンス不足も対処
- ・国交省 中山副大臣が就任会見＝働き方改革と国土強靱化など
- ・港湾局 北東アジア港湾局長会議＝日中韓連携共同研究実施
- ・川崎港 第1回長期構想検討委＝港湾計画次期改訂、平成10年以来の策定へ
- ・東北地整 釜石港のBCP訓練実施＝港湾関係機関と連携強化
- ・北陸地整 広域港湾BCP訓練開催＝オンラインで28機関参加
- ・東京都 令和4年度予算見積り＝ふ頭整備に186億円等
- ・東京都 来年度要求の施工箇所＝中防外外贸コンテナふ頭等
- ・寒地センターら ザ・シンポジウムみなと in 釧路＝国際バルク戦略港湾と産業振興
- ・北陸地整 首都直下・南海地震対策＝オンライン代替輸送訓練
- ・東北地整 広域港湾BCP訓練＝実効性向上へ成果を反映
- ・東北クルーズ振興連携会議＝振興に向け「カンファレンス」
- ・北陸地整港湾空港部 第1回業務担当技術者表彰＝みなと総研荒木氏が受賞
- ・横浜市・ENEOS 水素供給体制構築で締結＝インフラ整備と活用促進
- ・東京港 第9次港湾計画長期構想＝中間まとめ意見募集開始
- ・北九州港 洋上風力支援で軽易変更＝作業船係留機能等3バース
- ・中部地整 清水港CNP協議会＝第1回、形成計画策定に向け始動
- ・荻田港 第2回CNP検討会概要＝次回取組の方向性公表へ
- ・広島県 東部港湾セミナー開催＝福山港の利用促進テーマ
- ・エネ庁 洋上風力セントラル方式＝コスト減・案件加速、調査等国の一括実施検討
- ・経済産業省 補正による洋上風力支援＝海底直流送電に50億円
- ・高橋海事局長 洋上風力講習会が初開催＝軽石で対策事例集も公表
- ・五洋建設 室蘭市に新工場を建設＝洋上風力の建設部材製作
- ・港コン協 東北地方整備局へ要望＝働き方改革、担い手確保
- ・港コン協 東京都に3年度要望提出＝働き方改革等4項目
- ・日立造船 福良港向けフラップゲート＝工場製作完了、今後現地施工へ
- ・CNAC 全国フォーラム開催＝海辺の体験活動を報告
- ・東亜建設工業 中間期決算は増収増益＝通期は受注減も売上高増
- ・九電みらいエナジーら 秋田県八峰町と能代市沖＝洋上風力配慮書縦覧開始

■令和3年11月29日号（第1764号）

- ・自民党港湾議連総会 新会長に森山衆院議員就任＝港湾予算満額確保、財務省に緊急要望
- ・埋浚協会 浅輪港湾局長に要望書手交＝来年度予算案、9つの柱を国に要望
- ・埋浚協会 各地整との意見交換会＝4週8休、更なる意識改革に努める

- ・政府 第14回経済財政諮問会議＝岸田首相の港湾強化指令
- ・港湾局 サイバーポート利用参加＝2次公募で7社を選定
- ・特定離島港湾 南鳥島、沖ノ鳥島の岸壁＝本体整い運用に向けた準備へ
- ・室蘭港 室蘭市と大成建設が協定＝洋上風力等包括的連携へ
- ・関東地整 関東港湾広域防災協議会＝ガレキ仮置き、広域的処理連携
- ・東京都 最重点事項予算提案要求＝東京港Y3バース整備等
- ・千葉港 東京湾浅場造成その2＝木更津港に6.2万m³
- ・東京湾口航路 北護岸の改良整備に着手＝追加工事を出し進捗
- ・関東地整 TEC-FORCE 沖縄報告＝ドローンで軽石状況撮影
- ・北開局・北陸地整 沖縄にTEC-FORCE派遣＝軽石応援対策本部を設置
- ・東京都港湾局 伊豆諸島軽石流入防止へ＝2港オイルフェンス設置
- ・高知港海岸 津波防波堤ケーソン細部設計＝桂浜側から先行整備を予定
- ・名古屋技調 第24回民間技術交流会開催＝4題発表、活発に意見交換
- ・九州防衛局 佐世保市崎辺の係留施設＝水深11m、総延長520m
- ・九州地整 第2回北九州港CNP＝議事概要報告、港湾周辺部も検討対象
- ・神戸港 BCP協議会開催＝感染症対策編を策定へ
- ・大阪港 北港南C12岸壁＝荷さばき地盤改良工
- ・高松港 浚渫土砂活用技術検証＝カルシア改質土の利活用
- ・中国・近畿地整 軽石被害調査支援＝沖縄県にTEC-FORCE派遣
- ・全国海岸促進協 第25回シンポ開催＝気候変動に対応した現場実装
- ・関東地整 第1回多摩川環境検討会＝河口域造成浅場の効果報告
- ・横浜市 編成終盤を迎え国に要望＝横浜港強化と国際クルーズ
- ・中部国際空港 21年4～9月期決算＝国内線回復も2期連続赤字
- ・松山港・空事務所 「海ごみを集める船の仕事」＝整備船作業・周知活動
- ・環境省 洋上風力実施海域を公募＝準備書作成の情報収集
- ・環境相 秋田県八峰町・能代沖＝洋上風力で意見を提出
- ・三菱重工ら 環境配慮型クレーン納入＝神戸港CNP実現に向け
- ・伊藤忠ら 愛知県田原市に新バイオ発電所建設

■令和3年11月22日号（第1763号）

- ・港湾局 第83回港湾分科会開催＝小樽港、敦賀港の改訂了承
- ・港湾分科会 国際コンテナ現状を報告＝受給逼迫と国際港湾戦略
- ・港湾局・水産庁 漂流軽石の回収技術WG＝中間まとめで方策を集約
- ・港湾局技術企画課 民間からアイデア募集＝軽石回収案、25日まで
- ・斉藤国交大臣 COP26にメッセージ＝海運クライドバンク宣言
- ・中山国土交通副大臣 ASEAN交通連携承認＝港湾技術研究と保安向上

- ・東京港 中防外Y3国際コンテナターミナル＝岸壁着工に向け試験杭工事
- ・東京港 長期構想中間まとめ答申＝Y3・Z1等大水深整備
- ・稚内開建 抜海漁港の整備促進＝浚渫土運搬とブロック破砕
- ・鹿島港 洋上風力基地港湾＝外港地区12m岸壁等保安対策検討
- ・東北地整 インフラDX本部を発足＝下部推進部会に港湾部会
- ・関東・東北地整 漂着軽石除去の活動支援＝TEC-FORCE派遣で出発式
- ・宮古港 藤原地区防波堤改良工＝テトラブロック製作工事
- ・東京港 10号地(西)内貿ふ頭岸壁＝現地測量その他業務委託
- ・広島港 出島地区第2B事業化要望＝今後詳細設計等に着手へ
- ・鹿児島港 臨港道鴨池中央港区線＝橋梁部工事が本格化に
- ・福山港 箕島地区に来年度着工＝水深12mのバルクバース
- ・中部・四国地整 沖縄へ漂流軽石対策支援＝TEC-FORCE派遣で出発式
- ・岐阜市 県、議会へ要望書を提出＝滑走路延長、港湾整備、洋上風力等
- ・四日市港 霞北ふ頭国際物流ターミナル＝浚渫土砂の底質調査
- ・境港 外港昭和南地区＝新規12m岸壁深浅測量
- ・唐津港 東港地区複合一貫ターミナル事業＝水深9m水路測量調査
- ・松山空港 南側護岸の改良工事＝延長180mの嵩上げ打設
- ・徳山下松港 土砂処分場護岸改良工＝裏埋石嵩上げ最終段階へ
- ・横浜港 新本牧ふ頭水深18m岸壁＝鋼板セル第1函目を据付
- ・リサイクルポート推進協 令和3年度セミナー開催＝カーボンニュートラルに向けて
- ・港湾局 港湾ICT実施要領策定＝3次元モデルの作成方法
- ・港コン協 北開局に3年度要望書＝働き方改革や担い手確保
- ・日港連 企業経営課題や働き方改革＝3年度事業実態調査まとめ
- ・東亜建設工業 ガット船施工システム開発＝AI画像技術を現場に反映
- ・JAC 特定技能者国内試験実施＝海洋土木工に6名が合格
- ・環境省 浮体式洋上シンポジウム(12/11)＝北海道札幌で12月開催

■令和3年11月15日号(第1762号)

- ・港湾局 漂流軽石回収WGを開催＝11月中に技術検討結果公表
- ・北九州港 第1回長期構想検討委員会＝環境・エネルギー、防災等
- ・国交省 第4回インフラDX会議＝アクションプラン策定へ
- ・港湾局・海事局 第10回繋離船検討会＝自動係船装置導入着手
- ・海岸促進協 第25回海岸シンポ開催(11/19)＝海岸行政の気候変動対策
- ・羽田空港 京急引上線トンネル部等基本設計＝駅舎改築部やシールド部等
- ・関東地整 第4回シェアリング研究会＝南本牧実証実験結果報告
- ・埋浚協会・国交省など 令和3年港湾工事研修会＝事故防止に向けた講義等

- ・仙台塩釜港 石巻港区水深 13m航路＝深浅測量実施し、土量把握
- ・コスモエコパワーカーほか 青森西北沖洋上風力＝環境影響方法書縦覧開始
- ・秋田県 八峰町能代沖協議会＝第 2 回実務者会議を開催
- ・宮古港 藤原地区防波堤改良＝消波ブロック製作工事
- ・北陸地整 第 22 回新潟技調講演会（12/9）＝耐震と輪島港防波堤改良
- ・【特集】中部の港湾プロジェクト
- ・清水港湾事務所 清水港新興津岸壁延伸＝御前崎港では新エネ調査
- ・名古屋港湾事務所 中空沖土砂処分場に着工＝名古屋港飛島東ふ頭の再編
- ・四日市港湾事務所 霞ヶ浦北ふ頭W81 岸壁＝津松阪港海岸改良事業進捗
- ・三河港湾事務所 三河港神野ふ頭再編、臨港道＝衣浦港外港地区岸壁等
- ・港コン協 3 年度要望を港湾局に提出＝各地整局等に順次要望活動
- ・設計士会 国交省に 3 年度要望提出＝目標年次を持つ実行計画を
- ・関東地整ら 東扇島の基幹的防災拠点＝首都直下地震想定し実動訓練
- ・航空局 航空インフラプロジェクト＝海外プロジェクト獲得へ官民連携強化
- ・中部国際空港 第 4 回将来構想検討部会＝滑走路の大規模改修等議論
- ・国交省 ドローン活用技術検討会＝課題を抽出し意見交換
- ・伏木富山港 利用促進セミナー開催＝中国分析と利用事例報告

■令和 3 年 11 月 8 日号（第 1761 号）

- ・埋浚協会 関東地整と意見交換会＝週休 2 日、生産性、担い手確保
- ・国交省 運輸分野の水素・燃料電池＝利活用拡大へ官民が議論開始
- ・関東地整 CN 技術を総合評価で加点＝千葉港で初弾案件を公告へ
- ・環境省 港湾局の CNP を支援＝4 年度予算で関連施策要求
- ・関東地整 ICT 横浜港輸送検討会＝CONPAS 混雑時効果大
- ・敦賀港 港湾計画改訂で地整港開催＝鞠山南地区の物流機能強化
- ・千葉港 水深 9 m 岸壁改良築造工＝CN モデル工事の第一弾
- ・横浜港 本牧地区再整備事業＝B 突堤撤去計画検討業務
- ・横浜港 新本牧ふ頭第 1 期埋立＝リニア新幹線発生土受入開始
- ・函館港 若松地区 10m 泊地浚渫＝西防波堤改良も事業継続
- ・室蘭開建 登別漁港の整備促進＝耐震化や屋根付岸壁
- ・七尾港 大田地区国際物流 T 整備＝泊地水深 13m 浚渫工
- ・成田空港 千葉港頭石油ターミナル＝30 年ぶりに新栈橋完成
- ・苫小牧港 G クレーン 4 号設置＝12 月中の供用開始へ
- ・神戸港 航路附帯施設の基礎工事＝第 4 四半期に 2 次捨石や裏込等
- ・近畿地整 国際物流戦略チーム幹事会＝物流強靱化と脱炭素化
- ・博多港 箱崎ふ頭の岸壁改良＝電気防食や上部床版など

- ・北九州港 第2回北九州港CNP＝形成計画の素案を公表
- ・苅田港 本港地区水深10m岸壁＝予防保全で第2B基本設計
- ・近畿地整 武庫川でICT浚渫見学会＝神戸高専の男女14名参加
- ・高知港 クリーンアップ環境学習＝種崎海水浴場でゴミ回収
- ・広島港 宇品地区ふ頭再編事業＝SCPで岸壁背後部改良
- ・福山港 浚渫土砂処分場＝盛土嵩上げ最終工事へ
- ・農林水産省 第45回漁港整備分科会開催＝来年以降の長期計画検討
- ・東京港 第9次港湾計画長期構想＝中間まとめ案を公表
- ・令和3年秋の叙勲・褒章 旭中に村重氏（元五洋建設社長／元埋浚協会会長）
- ・五洋建設 ジャパンオフショアマリン設立＝我が国洋上風力建設に貢献
- ・高橋海事局長 国際海運GHGゼロ宣言＝「技術開発と両輪で貢献」
- ・四国地整 みなとづくりマイスター＝国交省港湾局長賞授与式
- ・大分港 国内初ドローン点検実験＝クレーンの腐食確認成功
- ・パシフィコE 洋上風力開発で新会社＝英エネルギー大手と設立
- ・日本郵船ら 国産アンモニア燃料船＝次世代船舶PJが発足
- ・坂出港 四国電力等がバイオマス＝年間24万tCO₂削減

■令和3年11月1日号（第1760号）

- ・港湾局 第3回CNP検討会＝最終案に向け中間案深掘
- ・港湾局 第3回基地港湾検討会＝浮体式で大水深岸壁必要
- ・政府 第6次エネルギー基本計画＝洋上風力環境アセス再検討も
- ・エネ庁 海上風力第4次プラン＝日本版セントラル勝律へ
- ・PIANC日本部会 21年日本セミナー開催＝CNPの今後の方向など
- ・リサイクルポートセミナー（11月16日開催）＝「カーボンニュートラルに向けて」
- ・石狩湾新港 東地区国際物流ターミナル＝水深12m岸壁の工事開始
- ・小名浜港 CNP第5回検討会開催＝エネ需要の試算方法等
- ・横浜港・川崎港 CNPセミナー開催概要＝WGの取り組みを明確化
- ・茨城港・鹿島港 CNP・WGの概要公表＝参加企業からの意見招集
- ・北海道開発局 白尻漁港の臨港道路工事＝着工状況の見学会を開催
- ・横浜港 本牧ふ頭再整備事業＝D5岸壁地盤改良試験
- ・新潟空港 護岸施工検討業務＝越波／吸出し影響調査
- ・青森県沖南側 洋上風力配慮書縦覧開始＝大阪ガス、三井物産など
- ・関東地整局 港湾空港技術講演会開催（11/22）＝港湾の気候変動適応策等
- ・三河港 臨港道東三河臨海線事業＝具体化に向け事前検討調査
- ・清水港 農産物・食品の輸出促進＝官民連絡会議を設置し議論
- ・名古屋港 金城ふ頭の再編整備事業＝ふ頭用地造成に向け裏込

- ・名古屋港 全国初の5G遠隔操作＝工事施工時活用も視野に
- ・日本風力エネルギー 佐賀県唐津市沖洋上風力＝配慮書の縦覧を開始
- ・中国地整 中国ブロックの重点計画＝港湾では防災と経済基盤
- ・宿毛湾港 池島地区防波堤I＝事業化に向け断面検討等
- ・四国地整 高知港三重防護津波対策＝高知市議会特別委が視察
- ・海上GPS機構 精密単独測位サービスを追加へ＝洋上風力等広範囲カバー
- ・東洋建設 フライングビュー実証＝海上工事の安全対策に適用
- ・あおみ建設 松本城内掘浚実証実験＝工法有効性を学会で発表
- ・あおみ建設 3年度施工技術報告会＝最優秀賞、優秀賞を発表
- ・明治日本産業革命遺産 ルート推進協が総会開催＝アフターコロナ後の取組
- ・白糸ハイランド 観光道や実証試験場に活用＝港湾空港、補修材ニンジャシール
- ・日本船主協会 2050年GHG排出ゼロ＝池田会長が挑戦を宣言
- ・デカルト・データ 日米間コンテナ貨物量＝東航9月、前年比22.8%増
- ・横浜大さん橋国際客船T ロングライフデザイン賞＝港湾インフラが初受賞

■令和3年10月25日号（第1759号）

- ・日本港湾協会ら 港づくり全国大会を開催＝要望書を浅輪局長に手交
- ・日港連 浅輪港湾局長に要望書＝船舶保有評価の再考など
- ・港湾分野 オランダと覚書署名＝協力期間を3年延長
- ・国交省 ドローン利活用技術検討会＝災害対応等行政ニーズに応える
- ・羽田空港 アクセス鉄道の基盤整備＝ECI方式で事業実施へ
- ・関東地整 DXのロードマップ策定＝港湾、6年度クラウド運用へ
- ・北陸地整 第15回企業技術説明会＝最新工法やCIM導入等
- ・新潟港等 港湾機能強化、防波堤延伸＝老朽化対策の改良事業
- ・仙台塩釜港 高砂3号岸壁の整備促進＝石巻港処分場の予算化要望
- ・新潟港 土砂処分場の排砂管敷設＝西港航路泊地付帯施設
- ・茨城港 9m岸壁耐震性能照査＝常陸那珂港区中央ふ頭
- ・山形県の遊佐町沖 第1回検討部会要旨公表＝地域還元と酒田市との連携
- ・名古屋港 新土砂処分場の護岸整備＝初弾工事の手続きを開始
- ・徳山下松港 徳山地区水深14m岸壁＝耐震ケーソンの細部設計
- ・清水港 新興津地区国際物流ターミナル＝来年度着工に向け対策検討
- ・宮崎港 西地区航路水深9m＝フェリー大型化の対応
- ・舞鶴港 臨港道路上安久線整備＝A2橋台の設計修正も
- ・高知港三里地区 防波堤の粘り強い化＝被覆ブロックの撤去や腹付け
- ・福山港 箕沖地区ふ頭再編改良＝埋立竣工に伴う境界確定等
- ・福山港 危険物国際海上運送規則＝オンラインセミナー開催

- ・九州地整 九州ブロックの重点計画＝耐災害とクルーズ支援等
- ・中部地整 第24回民間技術交流会＝プレゼンで聴講者募集
- ・総合政策局 インフラ長寿命化計画＝令和2年度末結果を公表
- ・北海道局 第25回国土審議会分科会＝再来年度新開発計画策定へ
- ・東京湾大感謝祭＝オンライン生中継で開催
- ・日港連 第104回セミナー開催＝脱炭素社会への港湾の役割
- ・水底質浄化協 第47回技術セミナー開催＝ブルーカーボンの役割等
- ・エネ庁 長距離海底送電検討会＝ファイナンスとFS調査
- ・大林組 新潟県村上市・胎内市沖＝洋上風力の配慮書を公表
- ・大阪ガスら 佐賀県北部海域洋上風力＝配慮書の縦覧を開始
- ・細島港背後でバイオ発電＝大阪ガス、来春建設開始

■令和3年10月18日号（第1758号）

- ・港湾知事協議会 国交省と意見交換会開催＝4年度事業要望書を手交
- ・港湾局 ブルーカーボン検討会開催＝面積の把握やオフセット制度など
- ・港湾局・エネ庁 八峰町沖の公募占用指針＝洋上風力で意見募集開始
- ・北陸地整 日本海交流ネットワーク＝3年度総会と講演会開催
- ・港湾局 クルーズ受入高度化事業＝事業実施に4港を選定
- ・港湾局 サイバーポート導入52社に＝新たな紹介動画も公開
- ・横浜港・川崎港 CNPセミナーを開催＝形成周知し、地域総動員へ
- ・千葉港 船橋地区海岸保全施設＝来年度直轄事業要望へ
- ・鹿島港 洋上風力発電基地港湾＝直轄維持管理方策等検討
- ・遊佐町沖 洋上風力の協議会設置へ＝令和3年度検討部会初回
- ・名洗港 防波堤新設等を計画中＝洋上風力発電事業に対応
- ・敦賀港 鞠山北防波堤改良＝港内静穏化へ強化
- ・苫小牧港 西港区中央北ふ頭が進捗＝来年度に整備完了～供用
- ・新潟東港 エクイスのバイオ発電所＝東北電力参画も岸壁未定
- ・秋田洋上風力発電 秋田港・能代港施設建設＝すべての基礎杭打設完了
- ・和歌山下津港 海南地区に耐震強化岸壁＝本港地区の機能強化も検討
- ・別府港 水深9mフェリーバースを要望＝ふ頭の再編事業も今後対応
- ・三島川之江港 金子地区水深9m岸壁＝施工検討業務を手続き中
- ・広島空港RESA 造成工事その2を準備＝サイクリングロードの付替えなど
- ・広島港海岸 中央東地区矢野護岸改良＝本体工、護岸基礎工など
- ・八尾空港 ヘリ用エプロン舗装改良＝整備計画検討業務手続き
- ・名古屋港 ポートアイランド仮置土砂＝新処分場への搬出検討など
- ・荻田港 本港地区水深10m岸壁改良＝先行の第1Bは修正設計

- ・姫路港 大阪ガス等がバイオマス＝広畑地区公共岸壁使用
- ・福岡市 アイランドシティ港湾用地＝A B 区画分譲予定者決定
- ・JOPCA・OCDI 港湾を巡る世界の動き＝海外体験等を踏まえ講演
- ・海洋・港湾構造物設計士会 インフラづくりと価値創造＝第 13 回研修会開催
- ・政府 洋上風力評価要件を緩和＝10 月 31 日から 5 万 kW 以上に
- ・環境相 潟上市・男鹿市・秋田市沖＝洋上風力配慮書意見提出
- ・中部地整 オアシス浜名湖で輸送訓練＝港湾業務艇を初めて活用
- ・応用地質 NEDO 洋上風力で採択＝海底地盤調査で 20 億円
- ・ENEOS 再エネ事業の JRE 買収＝大規模再エネ電源を獲得
- ・商船三井 海底ケーブル敷設で協業＝洋上風力需要の獲得狙う
- ・レノバ 「世界洋上風力フォーラム」入会＝浮体式など国際連携促進
- ・神戸港 トライアル支援事業募集＝環境負荷の少ない輸送へ
- ・「国土技術開発賞」＝沿岸センター、募集開始

■令和 3 年 10 月 11 日号 (第 1757 号)

- ・国土交通省 齊藤大臣が就任会見＝港湾整備の重要性語る
- ・齊藤新大臣 専門紙会見で質疑応答＝「洋上風力で世界に向けた提案も」
- ・環境省 着床式廃棄の考え方公表＝残置部分や撤去方法など
- ・埋浚協会 各地方整備局と意見交換＝4 週 8 休など 3 テーマ要望
- ・横浜市・商船三井 クリーン燃料船覚書締結＝就航促進と円滑な受入
- ・国交副大臣に中山展宏氏＝泉田政務官ら 3 人も就任
- ・清水港 大規模災害へ支援体制強化＝TEC-FORCE、港湾業務艇を派遣
- ・国交副大臣に中山展宏氏＝泉田政務官ら 3 人も就任
- ・茨城港・鹿島港 CNP 形成計画原案策定＝洋上風力促進区域も視野
- ・北陸地整・埋浚協会 若手技術者勉強会開催＝BIM/CIM 等テーマ
- ・関東地整 横浜港・川崎港 CNP＝陸電導入とロードマップ
- ・稚内開建 稚内北防波堤改良促進＝枝幸港では屋根付栈橋
- ・苫小牧港 東南アジア航路誘致＝インセンティブ制度創設
- ・苫小牧港 双日と日本製紙がバイオマス＝勇払ふ頭 1 号岸壁を利用
- ・東京港 橋梁・トンネル長寿命化＝約 250 億円規模で実施
- ・東京都港湾局 東京港港勢速報発表
- ・東北電力など 酒田港近隣でバイオマス＝北陸地区小湊埠頭を利用
- ・千葉港 八幡地区でバイオマス＝八幡所有の岸壁を利用
- ・石狩湾新港 工業団地内にバイオマス＝西埠頭岸壁の利用を予定
- ・東北地整 災害時事業継続認定制度＝今回 18 社認定で計 76 社
- ・四日市港 霞北ふ頭国際物流ターミナル第 2 B＝地盤改良工事の手続き開始

- ・中国地整 第4回徳山下松港CNP＝新エネ資源潜在需要など
- ・大阪府・市 夢洲地区IR運営事業＝MGM・オリックスに
- ・四国地整 四国ブロックの重点計画＝大地震対策で高知港整備
- ・長洲港 土砂処分場の整備へ＝計画段階環境配慮書縦覧
- ・四国西南航路 航路水深3m保全事業＝奥南、細木、船越3航路
- ・境港 背後地に米子バイオマス＝国際コンテナターミナル岸壁利用
- ・日鉄エンジ・TOYO 唐津バイオマスを受注
- ・三河港蒲郡地区 中部電力等のバイオマス＝蒲郡・浜町埠頭の岸壁へ
- ・下関港 リフレッシュ瀬戸内＝御船手海岸で清掃活動
- ・RSO 第2回WEBフォーラム開催＝いであ「YOUZAN」、港湾空港DX
- ・スマートエネルギーWeek 秋 東京ビッグサイトで開催＝国内外480社が出展
- ・海事局 第14回海洋立国功労者＝洋上風力政策で來生氏選出
- ・みなと総研ら 北東アジア政策懇話会＝北極海航路の最新動向報告
- ・長崎県 西海市江島沖協議会＝国交省地盤調査問題なし
- ・経済産業省 洋上風力低コスト化事業＝NEDOが公募を開始
- ・茨城県ほか 産業立地セミナーを開催＝飛躍伺う半導体産業誘致
- ・小松島港・空事務所 和歌山市へ飲料水輸送＝近畿地整らは給水袋協力
- ・東京ガス・九州大ほか JST研究支援に採択＝洋上風力コスト削減へ
- ・中部地整 清水港湾事務所100周年＝動画パンフをウェブ公開

■令和3年10月4日号（第1756号）

- ・港湾局・エネ庁 秋田八峰町沖促進区域＝公募占有指針を共同検討
- ・SCOPE 第5回洋上風力セミナー開催＝MWSの取組状況等報告
- ・日米豪印首脳会議 グリーン港湾インフラ形成＝脱炭素化等の共同声明発表
- ・土木学会 エネルギー委員会講演会＝CO₂のリサイクル活用も
- ・国土政策局 国土審議会計画部会初会合＝新国土形成計画議論開始
- ・関東地整 横浜港・川崎港CNP＝第2回形成推進会議開催
- ・釧路港 新海面処分場整備着手＝島防波堤は盛土安定化工
- ・北陸地整 新潟港CNP検討会＝県と企業が取り組み報告
- ・東北地整 酒田港CNP検討会＝年度内のとりまとめ確認
- ・根室港 屋根付栈橋整備中＝農産物の輸出促進強化
- ・羅臼漁港 清浄水を活魚施設に＝WTOで取水管工事
- ・東北クルーズ振興 カンファレンス開催＝ウィズ・コロナのクルーズ
- ・釜石港 湾口地区防波堤＝強靱化対策工の検討など
- ・佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝耐震強化で海底地盤改良
- ・石垣港 クルーズ関連整備を実施＝外郭施設延伸や土砂処分場

- ・高松港 朝日地区フェリーバース＝船尾部係船岸を手続き中
- ・姫路港 広畑地区臨港道路計測＝橋梁構造形式など検討に
- ・和歌山下津港 北港地区防波堤（南）延伸＝被覆、根固工を新規発注
- ・北九州空港 R E S A用地造成工へ＝夜間作業時間帯で実施
- ・下関港 新港地区岸壁240m＝耐震性照査検討業務
- ・苅田港 航路水深13mの深浅測量＝トレンチ浚渫の効果検証
- ・徳島飛行場 場周道路の法面補強工＝R E S A基本設計も進む
- ・神戸港 第2回CONPAS試験＝ゲート処理時間大幅削減
- ・中部地整 中部ブロック重点計画⑩＝経済・観光で港湾の役割
- ・外国人特定技能者 海洋土木工の人材確保へ＝11月に学科・実技評価試験
- ・埋浚協会 港湾技術報告会を開催＝DX、CN等取組を報告
- ・沿岸C・国技研 国土技術開発省表彰＝合計11の優秀技術顕彰
- ・東洋建設 BIM/CIM属性自動付与＝入力作業を無くしデータ管理
- ・土木学会 令和3年度土木学会全国大会＝オンライン開催で手応え
- ・日建連 海保庁栗井参事官が講演＝研修会開催、荒天時の船舶安全確保等
- ・港湾局 みなとマイスターを表彰＝令和3年度は局長賞2名
- ・港湾局・海事局 第2回クルーズ事業採択＝安全受入・寄港促進の4件
- ・海事局 海事産業強化法認定制度＝洋上風力浮体のJMU等
- ・エクシオと昭和電線 洋上風力分野で業務提携＝施工工事に電線部品供給
- ・ウェザーニューズ AI技術で洋上風力支援＝洋上エネ気象チーム新設

■令和3年9月27日号（第1755号）

- ・港湾局 秋田八峰町沖が促進区域＝有望区域追加等海域整理
- ・新潟県・山形県 洋上風力有望な地域選定＝両知事がコメントを発表
- ・四国地整 第2回CNP形成勉強会＝モデル港に高松、坂出、新居浜港
- ・港湾局 CNP形成へ実証事業＝安全・技術面で設計へ
- ・港湾局 海岸保全施設長寿命化＝主幹課長会議で取組紹介
- ・関東地整 港湾空港部の紹介動画＝事業周知へ広報活動促進
- ・関東地整 茨城港等CNP・WG＝議事要旨・次回計画原案
- ・羽田空港 シールドトンネル基本設計＝引上げ部線部は土質調査
- ・青森港 油川地区未利用ふ頭＝岸壁化の設計条件を把握
- ・仙台塩釜港 向洋地区水深14m岸壁＝上部工、GC基礎頂部工設計
- ・レノバ 石巻港でバイオマス発電＝燃料は雲雀野中央・北埠頭
- ・関東地整 工事発注見通し（9月現在）＝羽田A誘導路地盤改良等
- ・福岡空港 滑走路新設工事手続きへ＝地盤改良済区間が対象
- ・平良港 大型クルーズバース今年度完成＝漲水地区第2バース整備中

- ・三河港 神野地区水深 10m岸壁＝地盤改良工等施工法検討
- ・熊本空港 排水施設基本設計＝豪雨時の排水能力維持
- ・万関瀬戸航路 吹付法面の現況調査＝赤外線映像処理・解析
- ・高知空港 排水施設実施設計＝設定降雨量増加に対応
- ・八代港外港地区 来春バイオ発電建設開始＝今後、利用岸壁の選定へ
- ・沖縄県 4年度予算概算要求＝港湾整備に 150 億円
- ・王子ら 徳島県阿南市バイオマス＝来年 9 月発電所運転開始
- ・J A P E Xら 長府にバイオ発電所建設＝来年 6 月の稼働目指す
- ・神戸港 国際フィーダー航路拡充＝井本商運に試行事業委託
- ・名古屋港管組が作成＝要覧と「Port of Nagoya」
- ・長崎県壱岐市 第 1 回洋上風力協議会要旨＝3つのエリアで検討深掘
- ・東亜建設工業 鋼板接着併用型タフリード P J 工法＝栈橋鋼管杭の頭部腐食対策
- ・環境相 秋田県八峰町・能代沖＝洋上風力配慮書意見提出
- ・J R E 長崎県西海江島洋上風力＝ドイツ老舗企業と協業開始
- ・中国地方国際物流戦略チーム 呉港利用者懇談会開催＝R O R O 定期船就航期待
- ・中部地整 中部ブロック重点計画＝基幹産業支援と防災など
- ・九州地整 海輝と海煌が有明海清掃＝漁船と共同で漂流物回収
- ・東電 R P グリーンボンド発行確定＝洋上風力等に 300 億円
- ・八峰能代沖洋上風力＝最大出力倍増に計画変更
- ・日揮グループ マレーシア社と共同開発＝洋上向け遠隔操業可視化
- ・P I A N C 日本部会 オンラインセミナー開催＝洋上受け遠隔操業可視化

■令和 3 年 9 月 13 日号（第 1754 号）

- ・港湾局 重要港湾主幹課長会議＝予算、重点施策の方向示す
- ・港湾局 第 2 回 C N P 検討会概要＝燃料ハブ構想や協議会など
- ・経済産業省 エネルギー調査合同会議＝洋上風力野心的目標提示
- ・中部地整 白龍、伊勢湾漂流物回収＝7 日間で約 4 ヶ月半の量
- ・第 6 次エネルギー基本計画＝パブリックコメント開始
- ・沿岸センター 海・港構造物維持管理士会＝資格試験と講習会参加者募集
- ・航空局 空港技術報告会議題募集＝脱炭素化取組テーマ
- ・羽田空港 旧整備場地区護岸地盤改良＝薬液注入で地下層を固化処理
- ・関東地整 茨城港等 C N P ・ W G ＝進行方法確認や企業動向
- ・八代港 航路泊地付帯施設＝余水吐、護岸隅角部など設計
- ・秋田港 外港地区第二防波堤＝プレキャスト化等検討
- ・仙台港 バイオマス発電所＝住商合同会社が建設
- ・北九州港 基地港湾、5 年度供用へ促進中＝響灘地区、これから岸壁本体工に

- ・内閣府 第1回沖縄CNP懇談会＝3年度3回開き、方向示す
- ・沖縄の社会資本重点計画＝平良港複合一貫輸送ターミナル等
- ・衣浦港 水深12m岸壁、臨港道＝技術検討業務を実施へ
- ・清水港 県の計画に認定書を交付＝産地・港湾連携で輸出増進
- ・鳥取港 千代地区防波堤（西）＝細部設計、施工検討業務
- ・農林水産省 令和4年度予算概算要求＝漁業機能増進と水産基盤
- ・環境省 4年度予算4100億円＝洋上風力で新規枠を追加
- ・国交省 海の次世代モビリティ＝6件の実証実験を採択
- ・港湾局 第2回基地港湾検討会要旨＝隣接岸壁と海底地耐で意見
- ・2020年コンテナ取扱貨物量 港湾局速報値＝2166万TEU（前年比7.3%減）
- ・経産省 研究開発の予算額を試算＝洋上風力で上限1195億円
- ・環境省 「洋上風力と環境配慮」＝シンポジウムを開催
- ・清水建設 洋上風力トップシェアへ＝有力欧州企業と協業開始
- ・関電・RWE 洋上風力で共同検討開始＝推進へ補完的契約を締結
- ・三菱商事エナジーら 洋上風力共同検討で合意＝秋田で部品調達網構築へ
- ・RX JapanとJWPA 風力発電展を開催（9/29～10/1）＝洋上風力・バイオマスも
- ・レノバ 小松島港津田地区バイオ＝燃料船は隣接10m岸壁利用
- ・秋田県 洋上風力発電保守研究会＝ウェブセミナー開催（9/28）

■令和3年9月6日号（第1753号）

- ・羽田空港 新たに人工地盤を整備＝国際・国内乗換え利便性へ
- ・港湾局 CNP検討会が中間報告＝策定マニュアル草案も公表
- ・海事局 4年度概算要求110億円＝洋上風力推進で新規枠
- ・海事局 第4回内航CN検討会＝中間とりまとめを公表
- ・国土交通省 社会資本整備重点計画＝ストック効果最大化へ
- ・総合政策局 グリーンチャレンジ推進＝予算2900万円を要望
- ・みなと総研等 北東アジア政策懇話会＝9/24、北極海航路の動向など
- ・東京港 第9次改訂港湾計画へ＝長期構想の骨子素案提出
- ・北開局 北海道港湾の将来像まとめ＝グリーン&デジタル社会へ
- ・北陸地整 北陸ブロック重点計画＝日本海側拠点の基盤整備等
- ・佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝耐震強化で背後液状化対策
- ・松山港 将来の整備計画を検討へ＝基礎調査等作業を開始
- ・関門航路 航路整備計画作成業務＝5年～9年度実施予定分
- ・姫路港 臨港道路広畑線延伸＝予備設計等手続き開始
- ・日立造船・東洋建設 サクシオンバケット基礎＝洋上風力発電へ実海域実験
- ・経済産業省 令和4年度の予算要望＝洋上風力に約80億円

- ・海事局長 30年CO2削減目標＝「181万t深堀り検討」
- ・政府 25年開催大阪・関西万博＝港湾インフラ整備計画等
- ・日本気象 洋上風力向け気象・海象＝予測Webサービスを開始
- ・中部国際空港 第二滑走路将来構想＝第1回検討部会を開催
- ・風力発電協会 洋上風力サミット開催＝北九州市で業界交流促進
- ・福岡市 アイランドシティ国際CT＝C2岸壁延伸部供用開始
- ・JFEエンジ 洋上風力PJチーム新設＝従来の基礎にO&M追加
- ・SCOPE 第5回洋上風力セミナー＝9/22、登録不要で聴講可能

■令和3年8月30日号（第1752号）

- ・来年度概算要求 港湾局関係3066億円＝CNPで新規制度・税制
- ・自民党港湾議連 4年度概算要求関連総会＝港湾整備・振興に関し決議
- ・航空局 整備勘定3919億円＝羽田で人工地盤整備着手
- ・神戸港 CONPAS導入へ＝第2回試験運用を実施
- ・千葉港 水深9m岸壁築造に着手＝関東地整、千葉中央地区ふ頭再編
- ・関東地整 関東ブロック重点計画＝震災対策と国際競争力
- ・石川県 令和4年度国への要望＝金沢・七尾・輪島港整備
- ・衣浦港 外港地区水深12m岸壁＝名古屋技調で基本設計へ
- ・九州地整・大阪航空局 北九州空港3000m化＝環境アセス方法書縦覧中
- ・高松港 港湾施設の技術検討＝防波堤と臨港道路整備
- ・岩国港臨港道路 3号橋P1～P3上部工＝4号橋P3の下部工も進む
- ・細島港 RORO岸壁予備設計＝水深7.5m耐震バース
- ・名古屋港 第4回CNP検討会＝3つの新規WGを設置へ
- ・防衛省 馬毛島基地港施設＝基地形成へ各種調査
- ・御前崎港 バイオマス発電所着工＝女岩地区で敷地5.3ha
- ・八代港 大築島土砂処分場＝基礎捨石2件工事
- ・四日市港 四日市利用促進協議会＝滋賀地区説明会を開催
- ・大林組 洋上スカートサクシオン＝風車の支持性能を実証
- ・大阪ガスら 秋田県潟上市沖洋上風力＝配慮書を縦覧し意見募集
- ・ウィンドパワー 鹿島港洋上風力発電＝環境アセス方法書縦覧
- ・環境省 着床式の廃棄許可申請＝9月17日まで意見募集
- ・パワーエックス 洋上風力電力を船で運搬＝事業発表と発足記者会見
- ・レラテックら 洋上風力の風況観測事業＝提携で高品質サービスへ
- ・東芝エネルギーシステムズ・東光鉄工＝ドローンで洋上風力点検
- ・ENEOS 水素SC構築に向け実験＝既存精油所・設備利用

■令和3年8月23日号（第1751号）

- ・港湾局 基地検討会で事務局示唆＝20MW機で岸壁強化必須
- ・国土交通省 山田次官が就任会見＝港湾強化と洋上風力推進
- ・環境省 着床式洋上風力施設残置＝廃棄許可の素案を公表
- ・九州地整 馬毛島基地港湾整備＝ECIで係留施設技術協力
- ・北陸地整 八戸港へ「白山」派遣＝座礁流出油回収作業
- ・港湾局 国際クルーズ機能高度化＝第2回事業公募を開始
- ・港湾局・海事局 クルーズ環境の整備＝補助制度で公募を開始
- ・ミス日本「水の天使」＝赤羽大臣を表敬訪問
- ・伏木富山港 新湊地区14m岸壁改良等＝直轄事業、鋼管矢板やレール基礎
- ・横浜港 臨港パーク先端部整備＝港湾局が市民意見募集
- ・小樽港 南側護岸の改良＝色内ふ頭老朽化
- ・八代港 係留施設の基本設計へ＝加賀島地区水深12m延長230m
- ・高松港・坂出港 第2回検討委、長期構想の素案示す＝物流機能の強化、連携
- ・徳山下松港 石炭バルク戦略関連事業＝情勢見極めつつ継続実施
- ・衣浦港振興会 港湾機能強化へ勉強会＝金属スクラップ輸出等
- ・那覇港 新港地区第2クルーズバース＝来春暫定供用へ
- ・神戸港 第4回CNP検討会開催＝阿達総理補佐官が参加
- ・沿岸センター 宮崎理事長インタビュー＝技術情報の中枢機関に
- ・経産省・国交省 洋上風力の有望区域選定＝送電系統確保要件を緩和
- ・長崎県 壱岐市洋上風力発電＝導入エリア設定へ
- ・九州地整 第1回苅田港CNP概要＝企業調査後に事務局案提示
- ・エネ庁・港湾局 秋田県八峰町と能代市沖＝洋上風力促進区域案公告
- ・港湾局・海事局 海洋周辺地域の訪日観光＝2つの支援事業を開始
- ・経済産業省 第6次エネルギー基計＝策定に向け素案まとめ
- ・設計士会 第12回研修会を開催＝今後の技術基準のあり方

■令和3年8月9日・16日合併号（第1750号）

- ・【夏季特集】遠藤国土交通省大臣官房技術参事官
- ・阿達雅志参議院議員／内閣総理大臣補佐官「港湾の新たな役割と期待」
- ・港湾局 第2回CNP形成検討会＝中間とりまとめ案を提示
- ・港湾局 洋上風力調査事業を選定＝北海道・山形・岩手の3海域
- ・港湾局 第2回基地港湾検討会＝地域振興とりまとめを議論
- ・関東地整 茨城CNP形成WG発足＝知事がCN産業活性化へ
- ・東京港 中防内側に新規埠頭整備＝長期構想、ユニットロード機能強化
- ・伏木富山港 港湾施設のアセットマネジメント講座＝富山大学生が座学、現地実習

- ・横浜港 新本牧地区防波護岸＝本體工 2 件の手続き
- ・東北地整 東北ブロック重点計画＝港湾整備で物流機能向上など
- ・堺泉北港 汐見沖水深 12m 岸壁整備＝初弾工事を発注見通しに
- ・大阪港 北港南航路附帯施設整備＝護岸 2 開口部締切工事へ
- ・下関港 西山地区岸壁改良が完了＝バイオマス燃料船初入港
- ・神戸港 航路附帯施設基礎工事＝ 2 次築造工事 2 件を予定
- ・港湾局 洋上区域選定有識者会議＝これまで 5 回の要旨公表
- ・総合政策局 北極海航路産学官協議会＝日本港湾への寄港状況等
- ・エネ庁／港湾局 洋上風力指定ガイドライン＝国の系統確保支援明確化
- ・姫川港 西ふ頭 2 号岸壁で初荷揚げ＝熊本豪雨の災害廃棄物
- ・環境相 遊佐町沖洋上風力＝景観・鳥類への影響懸念
- ・環境相 あわら市沖洋上風力＝配慮書への意見提出
- ・国土交通省 中小企業の海外展開に＝「建設技術集」を日英版作成
- ・川崎地質／三国屋建設 水深 30m 鋼製櫓を開発＝洋上風力で用途拡大図る
- ・岩谷ら 水素燃料電池商用旅客船＝夢洲～大阪市内就航目指す
- ・中部空港第 2 滑走路＝構想推進調整会議初会合
- ・近畿地整 阪神港オープンキャンパス＝座学やクルージング実施
- ・経済産業省 海底直流送電の調査開始＝北海道・本州間ルート探る
- ・高橋海事局長 就任会見で抱負語る＝「洋上風力進出は重要」
- ・横浜港 N E D O 水素事業に採択＝C N P 利活用調査に着手
- ・三井 E & S マシナリー 港湾荷役機器水素化事業＝N E D O 助成に採択
- ・Y P C ・ Y K I P 100%再エネへ＝協力事業者の募集開始
- ・日本郵船ら 40 年脱炭素化達成計画＝C N 荷役機器を 4 基導入
- ・優良工事・業務・技術者等表彰

■令和 3 年 8 月 2 日号（第 1749 号）

- ・経済産業省 エネルギー基本計画素案＝洋上風力など再エネ主力
- ・日本空港ビル 羽田旅客施設を機能強化＝第 1、2 ターミナルにサテライト
- ・港湾局 港湾の工期ガイドライン＝地方・民間にも今後推奨
- ・港湾局 サイバーポート利用促進＝事業参加者 18 社決定
- ・港湾局 みなとオアシス八代登録＝世界最大級クルーズ拠点
- ・川崎港 埋設物移設が来年度完了＝臨港道路、水江町側アプローチ部
- ・北海道開発局 社会資本整備重点計画＝食料の安定輸送など課題
- ・増毛港 屋根付き岸壁が完成＝水産物輸出促進に寄与
- ・松本空港 官民連携手法を検討＝今年度は庁内合意形成
- ・川崎港 長期構想を検討＝夏以降に委員会

- ・舞鶴港 2岸壁の構造検討業務へ＝和田、前島地区の国際バース
- ・大阪湾岸道路 西伸部主塔の土質調査へ＝基本設計業務に結果反映
- ・広島港 宇品ふ頭の再編改良事業＝東端部の陸上地盤改良工
- ・北海道局 北海道開発分科会を開催＝計画推進部会、第8期総合計画中間検討
- ・秋田由利本荘洋上ウィンドエナジー＝促進地域で方法書意見募集
- ・JFEエンジ 国内初のモノパイル工場＝岡山で24年生産開始
- ・環境相 青森南・有望地域配慮書＝眺望・渡り鳥へ影響懸念
- ・北九州市 浮体式洋上風力を調査＝離島に電力供給、地産地消
- ・カーボンリサイクルWG＝船舶ゼロエミ燃料に有望
- ・新潟港海岸 大規模地震津波訓練＝誘導看板デザイン等検討
- ・港湾都市協議会 来年は室蘭市で開催
- ・九州地整 令和3年海の日表彰＝海事功労者など
- ・北陸地整 優良工事・技能者等＝各港湾事務所表彰
- ・関東地整 海事功労者表彰授与・伝達式
- ・関東地整・湾口航路事務所 優良工事・技能者表彰
- ・京浜港湾事務所 優良工事・技能者表彰
- ・千葉港湾事務所 優良工事・技能者表彰

■令和3年7月26日号（第1748号）

- ・浅輪港湾局長 就任会見で抱負語る＝国民生活向上へ3つの姿勢
- ・関東地整 横浜港・川崎港CNP＝第1回形成推進会議開催
- ・国土交通省 グリーン社会実現推進本部設置＝全施策に脱炭素化組入れ
- ・国土交通省 東京五輪準備本部開催＝日本の魅力を発信
- ・国土交通省 日ASEAN交通会合＝大臣会合の報告内容合意
- ・港湾局 みなとオアシス気仙沼＝全国150箇所目の登録
- ・茨城港 東防波堤築造と本体製作＝常陸那珂港区、県の側面護岸も整備
- ・能代港 用地造成の護岸設計＝洋上風車の部材置場
- ・東京都 浜離宮・辰巳・芝浦＝排水機場計画検討調査
- ・仙台石巻港 石巻港区南防波堤＝地盤改良の手続き
- ・神戸港 神戸港航路浚渫2件手続＝20万～30万m³、防波堤撤去跡等
- ・和歌山下津港海岸 内海水門・護岸築造工＝扉体製作や設置、吐水等
- ・高松港 備讃瀬戸航路の浚渫工＝水島航路交差部の増深へ
- ・エネ庁 洋上風力発電コスト試算＝前回試算から大きく低下
- ・各地方整備局 社会資本整備重点計画＝令和3年度意見募集開始
- ・港空技術振興会 3年度定時総会開催＝新会長に横田氏就任
- ・日鉄エンジ タイ国で天然ガス建設工事＝第3期事業、「くろしお」投入

- ・環境相 鹿児島県沖洋上風力＝環境相意見を経産省へ
- ・八峰町・能代市沖 洋上風力促進協議会＝とりまとめを行い公表
- ・関東地整 水際・防災対策連絡会議＝五輪の安全に連携強化
- ・東京港 全国初の混雑「見える化」＝待機時間等をWEB掲載
- ・関東地整 港湾空港功労者表彰＝17人、5団体に授与
- ・北開局 港湾空港関係功労者表彰＝前利尻町長と函館事業者
- ・国総研 優良業務と優秀技術者＝令和2年度表彰
- ・四国地整 令和3年港湾等海事功労＝1個人、5団体を表彰

■令和3年7月19日号（第1747号）

- ・環境省 第1回着床式残置検討会＝廃棄基準と申請を明確化
- ・北陸地整 第4回新潟港CNP開催＝阿達総理大臣補佐官も出席
- ・東京港 第9次改訂計画構想部会＝防災・管理と物流環境
- ・九州地整 第1回北九州港CNP検討会＝排出量推計し施策整理へ
- ・横浜港 シャーシシェアリング研究会＝位置情報実験の結果報告
- ・政府／国交省 特定港湾整備基本計画＝令和3年度を閣議決定
- ・横浜港 山下ふ頭で耐震強化岸壁＝来年度要望、臨港幹線新港～本牧間も
- ・湾岸道路 横浜国道が設計委託＝八景島～夏島橋梁計画
- ・七尾港 航路浚渫外工事＝国際物流ターミナル整備
- ・名古屋港 金城ふ頭の再編整備事業＝最終ケーソンを築造へ
- ・宮崎空港 エプロンの耐震改良等＝7番スポット外4件
- ・中国地整 水際・防災の合同会議＝港湾強靱化の推進など
- ・エネ庁 風力政策室を新設＝洋上風力拡大へ体制強化
- ・東洋建設 サイホン式余水排水工法＝CO2排出量削減にも寄与
- ・関門港湾建設 WEB現場見学会＝関門国際高生57名、航路、港湾の役割学ぶ
- ・白海 リモート現場見学会＝関門航路浚渫工事、八幡工業高生が学習
- ・東北地整 木材の利用拡大目指す＝輸出促進等へ初会合開催
- ・能代港 日本初の洋上風力作業船＝秋田OWサービス新造
- ・長崎県 洋上風力西海市江島沖＝着床式の魚礁効果を期待
- ・東邦ガス 「CNへの挑戦」を策定＝洋上風力事業開始を示唆
- ・ENEOS 仏技術系企業と開発提携＝特許技術携え浮体式促進
- ・令和3年「海の月間」行事・イベント

■令和3年7月12日号（第1746号）

- ・政府 令和4年度予算基本方針＝特別枠復活でCNP支援
- ・港湾局 第1回CNP検討会要旨＝洋上風力も絡めた議論提案

- ・国土交通省 グリーンチャレンジとりまとめ＝港湾CNPなど6大施策
- ・海事局 第3回内航CN検討会＝2030年排出目標を深掘り
- ・横浜港 WTO防波護岸築造3件＝新本牧、HBケーソン製作4件も
- ・東京港 中防外側Y3バース＝関東地整、試験杭と航路泊地浚渫
- ・東日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望⑤
- ・神戸港 神戸港水深12m航路浚渫＝30億円未満のWTO2件
- ・広島空港 RESA用地造成工へ＝土砂仮置場確保等
- ・近畿地整 神戸港水際・防災連絡会議＝出水期の防災や港湾強靱化
- ・佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝耐震強化で海上地盤改良
- ・海洋政策参与会議 菅総理に意見書を提出＝重点施策に洋上風力促進
- ・八峰町・能代市沖 洋上風力促進区域協議会＝とりまとめに向けて議論
- ・室蘭市 室蘭港の経営戦略策定＝料金見直し、荷捌き地拡大
- ・国土交通省 北海道総合開発の事業配分＝釧路港泊地整備に8億円
- ・海洋・港湾構造物設計士会＝令和3年度定期総会開催
- ・港湾局 みなとオアシス浜名湖＝149箇所目登録
- ・神戸港 海上物流改善へ制度拡充＝トライアル事業を公募
- ・IAPH総会開催＝副会長に篠原氏就任
- ・環境相 青森南・有望地域配慮書＝国定公園眺望の影響懸念
- ・横浜港 八戸港協議会と連携協定＝横浜市がコンテナ追加補助
- ・鹿島港・空事務所 常陸那珂港区合同点検＝北ふ頭外貿地区保安設備
- ・神戸市港湾局 小口混載サービス支援＝開設事業者に補助金

■令和3年7月5日号（第1745号）

- ・国交省人事 浅輪港湾局長、高田技総審＝遠藤参事官、中村近畿副局長
- ・港湾工事あり方 公告時チェックリスト明示＝施工条件を網羅的に確認
- ・洋上風力 基地は促進区域に要近接＝効率化へ港湾役割分担も
- ・沿岸センター理事長＝宮崎祥一氏が就任
- ・伏木富山港 水深14m岸壁改良築造外＝新湊地区、クレーンレール基礎等
- ・仙台塩釜港 築造工事2件手続き＝向洋地区水深14m岸壁
- ・酒田港 北港地区第二北防波堤＝ケーソン2函を製作
- ・東日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望⑥
- ・名港管組 ポーアイの利活用素案＝エネルギー等3機能描く
- ・和歌山下津港 マリーナシティのIR＝次期港計への取込も検討
- ・下関港 本港地区水深10m岸壁＝ROROバース、老朽化対策で耐震強化
- ・宮崎港 南防波堤の粘り強い化＝アスファルトマット敷設
- ・下田港 防波堤（西）開口部締切＝HBケーソンの細部設計

- ・西日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望①
- ・経済産業省 グリーン電力WG立ち上げ＝洋上風力、低コスト化と商用化を議論
- ・久慈市 浮体式洋上風力調査＝検討委員会で本格化
- ・大坪海事局長「洋上風力を国内産業に」＝発展へ施策3本柱を提示
- ・埋浚協 カーボンニュートラル部会設置＝港湾分野の脱炭素化促進
- ・国交省 令和3年版首都圏白書＝京浜港の国際競争力強化を報告
- ・経済産業省 新潟北部沖洋上風力＝風力部会で方法書審議
- ・能代市 令和4年国・県への要望＝能代港活用と洋上風力
- ・東亜建設工業 冷蔵倉庫の耐震補強＝冷温下の施工法開発
- ・令和3年度都市景観大賞＝清水港が景観まちづくり大賞受賞
- ・世界初水空合体ドローン＝KDDIらが開発
- ・港湾局 港湾でトラック自動運転＝実証事業の公募を開始
- ・東京港 東京五輪での混雑回避＝深夜の貨物搬出入可能に
- ・横浜市港湾局 施設指定管理者を公募＝横浜港シンボルタワーなど
- ・国総研 「国総研20年史」を刊行＝平成13年からの研究成果
- ・国土交通省 第6回国土計画推進部会＝展望・管理の総案を審議
- ・海・港維持管理士会＝第20回講演会開催
- ・PIANC日本部会 理事会、総会で議案了承＝柴崎准教授、スエズ運河同行で講演
- ・リサイクルポート推進協 3年度書面決議で議案了承＝鉄スクラップの循環資源等
- ・港湾局 遠隔操作RTG導入促進＝AI目指し補助事業開始
- ・総合政策局 物流大綱の報告会＝委員にKPIと推進体制
- ・地球環境研ら 海洋生物のCO2吸収解明＝三大湾は世界有数の吸収源
- ・日本港湾協会が公募＝令和4年度研究助成
- ・港湾局 東京湾・海の環境再生賞＝対象活動の募集を開始
- ・京浜港湾事務所 保安施設合同点検実施＝川崎港東扇島CTなど
- ・木更津港 テロ対策強化合同点検＝埠頭保安設備で関係者
- ・東京港 無電柱化整備計画を改定＝道路・敷地すべて対象に